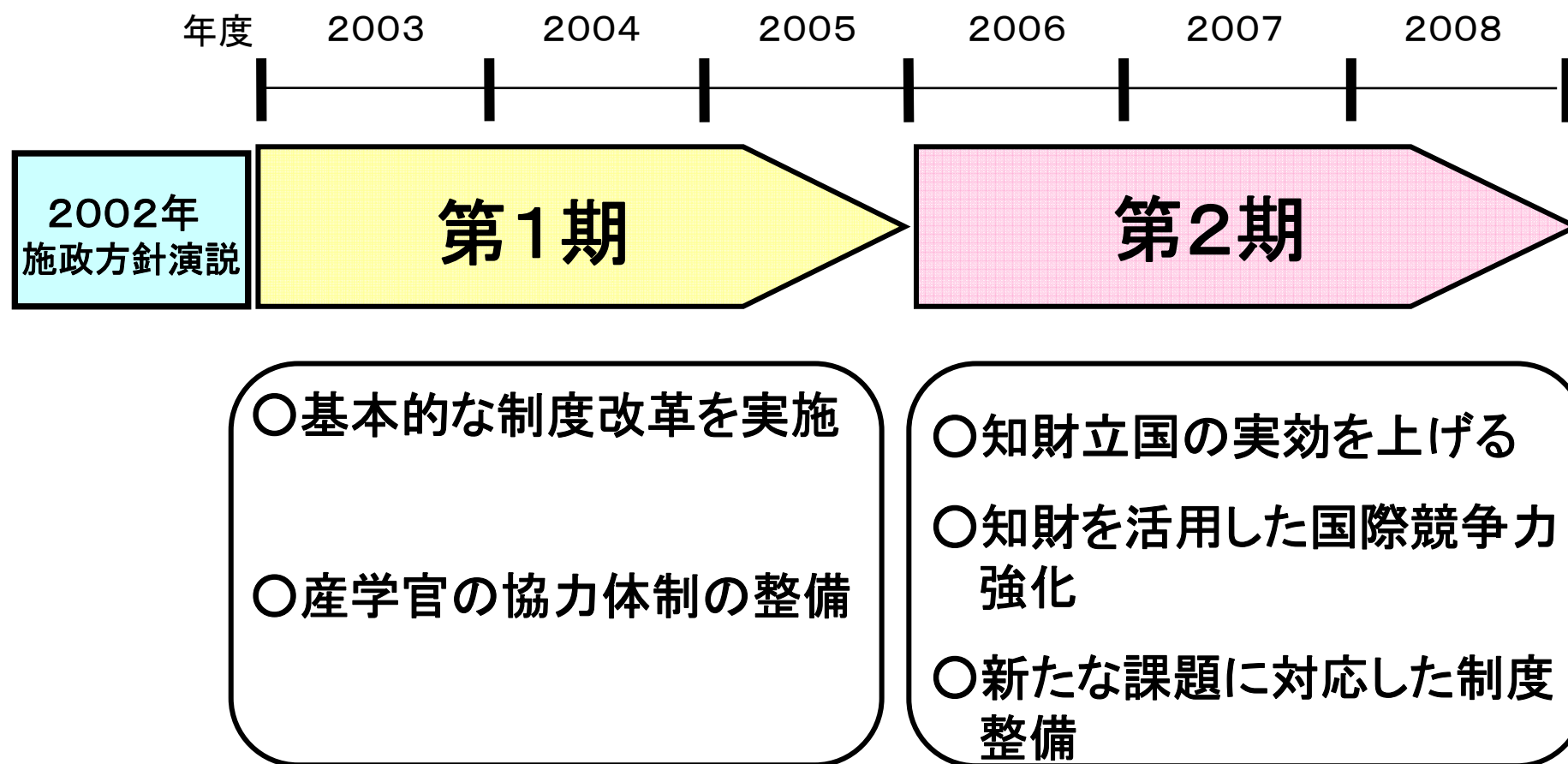


知的財産推進計画2007(案)の概要

2007年5月
知的財産戦略推進事務局

世界最先端の知財立国を目指す



「知的財産推進計画2007(案)」の基本的考え方

日本社会に新たな活力をもたらす
イノベーションを創造

＜イノベーション25＞

アジアなど世界の活力を取り入れる

日本の魅力、強みを高め、日本のよ
さ・日本らしさを世界に発信（アニ
メ、音楽、食文化など）

＜アジア・ゲートウェイ構想＞
＜日本文化産業戦略＞

成長と活力の源泉としての知的財産

知的財産戦略の推進

「知的財産推進計画2007(案)」のポイント

- 1 知的財産の創造
- 2 世界特許の実現と特許審査の迅速化
- 3 模倣品・海賊版対策の強化
- 4 国際標準化活動の強化
- 5 中小企業と地域への支援
- 6 文化創造国家づくり
- 7 日本の魅力の世界への発信
- 8 知財人材の育成

1 知的財産の創造

分野別知財戦略の策定

- ・重点推進4分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテク・材料)等

戦略的に知財活動に取り組む大学等・TLOの連携強化・重点支援

現場の課題へのきめ細かな対応

- ・共同研究時の学生の位置付けや知財権の帰属等のルールの明確化
- ・特許情報を活用した研究開発の戦略化を促進

2 世界特許の実現と特許審査の迅速化

● 海外での権利取得を早期化(特許審査ハイウェイ)

- ・国際出願の審査結果を特許庁間で相互利用し、審査を効率化

● 特許制度の共通化を推進

- ・日米欧の出願様式統一や、先願主義への統一を含む「実体特許法条約」実現に向けた交渉の加速

● 特許審査・審判の迅速化と質の維持向上

- ・審査順番待ち期間ゼロを目指し、2013年には11ヶ月に短縮

● アジア等における知財制度整備を支援

- ・知財に関する立法支援、審査協力、人材育成、情報化協力等

3 模倣品・海賊版対策の強化

● 模倣品・海賊版拡散防止条約を早期に実現

- ・ニセモノの製造、流通、消費を国際的に防止

● 映画盗撮防止法を適正に運用

- ・日本の映画産業に多大な被害を与えている映画館での映画の盗撮を禁止

● 税関による水際取締りを強化

4 国際標準化活動の強化

● 国際標準総合戦略を具体化

(2006年12月の知的財産戦略本部会合で決定)

- ・産業界がアクションプランを策定・実施
- ・国際標準の獲得により産業の発展が望まれる分野に対し、戦略的に研究資金を配分
- ・国際標準化活動のリーダーを育成
- ・人的ネットワークの強化や国際共同提案を柱とする「アジア・太平洋標準化イニシアチブ」を策定・実施

5 中小企業と地域への支援

● 中小・ベンチャー企業の知財を保護

- ・商工会、商工会議所「知財駆け込み寺」(全国約2,500箇所)等の相談機関の機能を強化するとともに、これらの連携を強化。
- ・法令違反や望ましくない業界慣行の事例を業界別に作成

● 大企業の未利用特許を活用

- ・未利用特許のウェブサイトを整備

● 地域の知財戦略を支援

- ・地域知財本部の活動と意欲的な地方公共団体への支援を強化
- ・地域ブランドや観光資源など地域固有の知財の活用を支援

6 文化創造国家づくり

● 世界トップクラスのコンテンツ大国を実現

- ・デジタルコンテンツの流通を促進する法制度等を整備
- ・ネット配信や国際展開を促進する契約ルールづくり
- ・ネット検索サービスに伴う著作権法上の課題を解決

● 日本ブランドを振興

- ・日本の食文化や食材を世界に普及
- ・地域ブランドを保護する地域団体商標制度の活用を促進
- ・「東京発 日本ファッション・ウィーク」を強化

7 日本の魅力の世界への発信

● JAPAN国際コンテンツフェスティバルを実現

- ・アニメ、マンガ、映画など日本のコンテンツの魅力を総結集

● 日本の魅力を体系的・効果的に発信

- ・海外での日本のイメージ等を体系的に調査分析し、施策に反映
- ・コンテンツ、日本食、ファッション、観光等を連携させた取組を推進

8 知財人材の育成

● 「知的財産人材育成総合戦略」を実行

- ・弁理士など知財専門人材の増加と資質の維持向上
- ・研究者、企業経営者などの意識改革
- ・国民各層への知財教育の推進

● 国内・外の研修機関間のネットワークを構築